

2025 年 5 月 1 日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 5-1-28
www.lilly.com/jp

EL25-18

アトピー性皮膚炎の治療薬「イブグリース®」 在宅自己注射が 5 月 1 日から可能に 4 週以降は患者の状態に応じて 4 週間隔も投与可能な皮下注製剤

日本イーライリリー株式会社（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：シモーネ・トムセン、以下、日本イーライリリー）は、抗ヒトIL-13モノクローナル抗体製剤「イブグリース®皮下注250mgオートインジェクター」、「イブグリース®皮下注250mgシリンジ」（一般名：レブリキズマブ（遺伝子組換え）、以下「イブグリース」）が、厚生労働省の告示を受け、2025年5月1日より在宅自己注射の対象薬剤となりましたことをお知らせします。

イブグリースは、2024年5月に発売され、既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎に使用される皮下投与製剤です。初回以降2週間隔（4週以降は患者の状態に応じて4週間隔も可能）で通院のうえ院内での皮下投与が必要でした。この度、在宅自己注射の対象薬剤となったことに伴い、医師が妥当と判断した患者さんについては、十分な説明およびトレーニングを受けたうえで在宅での自己注射が可能となります。これにより、患者さんの症状やライフスタイルに合わせた治療の選択肢が広がります。



イブグリース皮下注250mgオートインジェクター



イブグリース皮下注250mgシリンジ

日本イーライリリーは、今後も本剤を通じてアトピー性皮膚炎の患者さんのQOL向上に貢献してまいります。

以上

イブグリースについて

イブグリースは、IL-13に高い結合親和性をもつモノクローナル抗体です。IL-13に結合してIL-13Rα1/IL-4Rαヘテロ二量体複合体の形成とその後のシグナル伝達を特異的に阻止し、それによってIL-13の生物学的作用を阻害します^{1,2,3}。サイトカインであるIL-13はアトピー性皮膚炎において重要であり、皮膚の2型炎症を引き起こします³。

イブグリースは日本において2024年1月18日に承認を取得し、2024年5月31日に発売されました。日本における効能又は効果は、「既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎」です。用法及び用量は、「通常、成人及び12歳以上かつ体重40kg以上の小児には、レプリキズマブ（遺伝子組換え）として初回及び2週後に1回500mg、4週以降、1回250mgを2週間隔で皮下投与する。なお、患者の状態に応じて、4週以降、1回250mgを4週間隔で皮下投与することができる」です。

アトピー性皮膚炎について

アトピー性皮膚炎は、体のあらゆる部位の強い痒み、皮膚の乾燥及び炎症を特徴とする慢性及び再発性の皮膚疾患です⁴。アトピー性皮膚炎は、臨床的にも生物学的にも多様性のある疾患ですが、症状の表れ方も多彩であり、予測不可能な増悪を伴うことが特徴です⁵。痒みによって掻いてしまうことで更に皮膚損傷を引き起こします⁶。他の慢性炎症性疾患と同様に、アトピー性皮膚炎には免疫機能が関わっており、免疫細胞と炎症性サイトカインの複雑な相互作用が関与しています¹。アトピー性皮膚炎患者さんは、睡眠、日常生活、社会生活に影響しうるほど不快な強い持続性の痒みをしばしば訴えます。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。<https://www.lilly.com/jp>

#

1. Bieber T. Interleukin-13: Targeting an underestimated cytokine in atopic dermatitis. *Allergy*. 2020;75(1):54–62. doi:10.1111/all.13954
2. Tsoi LC, et al. Atopic Dermatitis Is an IL-13-Dominant Disease with Greater Molecular Heterogeneity Compared to Psoriasis. *J Invest Dermatol*. 2019;139(7):1480-1489. doi:10.1016/j.jid.2018.12.018
3. EBGLYSS. Prescribing Information. Lilly USA, LLC.
4. Weidinger S, Novak N. *Lancet*. 2016;387:1109-1122.
5. Langan SM, et al. *Arch Dermatol*. 2008;142:1109.
6. Yosipovitch G, et al. *Curr Allergy Rep*. 2008;8:306-311